

**第5回 福知山鉄道館ポッポランドのあり方検討委員会
議事概要**

1 日 時 平成30年11月9日(木)午前9時30分～午後11時30分

2 場 所 福知山市総合福祉会館 3階 34号室

3 参加者

委 員	足立和義委員（福知山鉄道館ポッポランド運営委員会 館長） 足立政人委員（福知山商店街連盟 会長） 井上敬規委員（プラスソーシャルインベストメント株式会社 取締役） 榎原傑委員（元京都北都信用金庫 常務理事） 梶村誠悟委員（福知山商工会議所 専務理事） 杉岡秀紀委員（福知山公立大学 准教授） 吉見美晴委員（京都府行政書士会 常任理事） 赤井貴恵委員（市民公募） 本多洋子委員（市民公募）
事務局 (福知山市)	大西担当課長、渡邊係長、伊庭主事、谷主事

4 会議概要

次 第	内 容
開会挨拶	杉岡委員長
協 議	1 ポッポランドのあり方協議 <u>主な意見</u> ○早期再開の請願が議会全会一致で採択を受けたという事実は重要である。 ○まち全体が鉄道のまちをコンセプトに、0号館から5号館までを設置することで、回遊を促すことができる。 ○運営サポーターとして、市民の協力が必要である。 ○良いものをつくらないと人は来ず、運営できない。 ○独立採算の実現可能性は低いが歴史の継承の上で重要な施設である。民間による効率的かつ効果的な運営によって負担が軽減できるが、市の財政的な支援が必須である。 ○自分の住んでいるまちのことを知りたいというシニア世代も多い。そうした世代にも来ていただける工夫が必要。
そ の 他	次回検討委員会 ○平成30年11月29日(木)午前9時～午前11時30分(終了予定)